

## 事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	福岡県	関係市町村	宗像市
事業名	水産物供給基盤整備事業（ 広域漁港整備事業 ）		
地区名	大島	事業主体	福岡県

## I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	大島漁港（2種）	漁場名	
陸揚金額	159 百万円	陸揚量	289 トン
登録漁船隻数	174 隻	利用漁船隻数	285 隻
主な漁業種類	刺し網、ひき縄釣	主な魚種	ぶり、さわら
漁業経営体数	102 経営体	組合員数	115 人
地区の特徴	大島地区は、福岡県北部の玄界灘に位置する離島で、対馬暖流の恩恵により良好な漁場となっている。刺し網を中心とした漁業を行っている。		
2. 事業概要			
事業目的	本漁港は離島にあるため港内静穏度が確保できておらず、また、土砂堆積により漁船航行に支障をきたしているため、防波堤整備及び浚渫を行い、漁業活動における作業向上を目的としている。		
主要工事計画	沖防波堤L=102m、防波堤L=230m、突堤L=110m、岸壁L=58m、泊地浚渫A=10, 220m <sup>2</sup>		
事業費	1,496百万円	事業期間	平成14年度～平成19年度

## II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
	本事業では、平成17年に計画変更を実施し、費用対効果分析を行った。その際の分析の算定基礎となった登録漁船数、利用漁船数については、漁業就業者数の減少といった要因から減少しており、費用便益比率も平成17年の1.84から平成25年の2.17へと減少している。
2. 事業効果の発現状況	
1) 沖防波堤、防波堤、突堤の整備による効果	事業実施以前は、静穏度が確保されていなかったため、係留作業に問題があったが、本事業による沖防波堤、防波堤、突堤の整備により、係留作業の安全性向上と作業効率の向上が図られた。
2) 岸壁の整備による効果	事業実施以前は、製氷施設にある岸壁は1バースであったため、出漁時に時間待ちをするといった問題があったが、本事業による岸壁を新設したことにより、出漁時の時間待ち解消が図られた。
3) 浚渫による効果	事業実施以前は、土砂堆積により水深が不十分であったため、漁船のプロペラが破損したといった問題があったが、本事業による浚渫により、漁船の修理費解消が図られた。
	また、現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。

3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された施設は、漁港管理者である福岡県が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき福岡県漁港管理条例を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>防波堤の整備に伴う静穏域の確保により、台風襲来においても、背後にある漁具保管修理施設の安全を確保できた環境となった。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>当該漁港における登録漁船隻数は平成13年には190隻であったが、人口減少といった問題があり、平成22年には174隻に減少している。また、平成20年には2漁協の合併があった。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本漁港の漁港施設は老朽化が進んできている。現況の施設の状況を把握するため、平成23年度に機能保全計画書を作成した。今後は、機能保全計画書に従い適切に保全対策工事を実施していく。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成17年評価時の 費用便益比B/C	1.84	現時点の B/C	2.17	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

### Ⅲ 総合評価

本事業では、生産拠点として重要な役割を担っている当該地区において、安全な係留作業と効率的な漁業活動の確保を図るために、外郭施設、係留施設の整備を行った。

また、貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められた。

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	福岡県	地区名	大島
事業名	水産物供給基盤整備事業	施設の耐用年数	50

## 2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	4,583,686
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就労環境の向上		⑤漁業就労環境の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬漁港利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額）	B	4,583,686	千円
	総費用額（現在価値化）	C	2,105,005	千円
	費用便益比	B / C	2.17	

## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・越波による水産関連施設、住宅の塩害を軽減する効果。</li> <li>・漁業活動が安全になったことにより、周辺海域の漁場環境が保全される効果。</li> </ul>
--

# 水産物供給基盤整備事業 大島地区 事業概要図

事業主体:福岡県  
主要工事計画:沖防波堤 102m、防波堤 230m、  
突堤 110m、岸壁 58m、  
泊地浚渫 10,220m<sup>2</sup>  
事業費:1,496百万円  
事業期間:平成14年度~平成19年度



## 大島地区水産物供給基盤整備事業の効用に関する説明資料

## 1. 事業概要

- (1) 事業目的： 本漁港は離島にあるため港内静穏度が確保できておらず、また、土砂堆積により漁船航行に支障をきたしているため、防波堤整備及び浚渫を行い、漁業活動における作業向上を目的としている。
- (2) 主要工事計画： 沖防波堤 L=102m  
防波堤 L=230m  
突堤 L=110m  
岸壁 L=58m  
泊地浚渫 A=10,220m<sup>2</sup>
- (3) 事業費： 1,496百万円
- (4) 工期： 平成14年度～平成19年度

## 2. 総費用便益比の算定

## (1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	2,105,005（千円）
総便益額（現在価値化）	②	4,583,686（千円）
総費用総便益比	②÷①	2.17

## (2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
沖防波堤	L=102m	355,000
防波堤	L=230m	860,490
突堤	L=110m	94,000
岸壁	L=58m	40,000
泊地浚渫	A=10,220m <sup>2</sup>	147,412
計		1,496,902
維持管理費等		366,136
総費用		1,863,038
現在価値化後の総費用		2,105,005

## (3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額 （千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		165,818	労務時間の削減効果、経費削減効果
計		165,818	



## 3. 効果額の算定方法

## (1) 水産物生産コストの削減効果

## ①労働時間の削減効果

## (i) 外郭施設整備による係留作業時間の軽減

外郭施設整備により港内の静穏度を確保する。この整備に伴う係留作業時間の短縮効果。

## (i-1) 陸揚げ・準備岸壁

区分		備考
利用漁船（隻）	①	285 漁港港勢の概要「平成22年」
1隻当たり年間係留回数（回）	②	160 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県）
係留作業人数（人）	③	3 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県）
整備前の係留作業時間（h）	④	0.83 宗像漁協ヒアリング（H13、福岡県） 係留のための時間0.33h（20分） 係船岸使用時間0.5h（30分）
整備後の係留作業時間（h）	⑤	0.72 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県） 係留のための時間0.22h（13分） 係船岸使用時間0.5h（30分）
労務単価（円/h r）	⑥	1,620 漁業経営調査報告（H23、農水省統計部）
年間便益額（千円/年）		$(④ - ⑤) \times ① \times ② \times ③ \times ⑥ / 1,000$
		24,377

## (i-2) 休けい岸壁

区分		備考
登録漁船（隻）	①	174 漁港港勢の概要「平成22年」
1隻当たり年間係留回数（回）	②	160 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県）
係留作業人数（人）	③	1.5 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県）
整備前の係留作業時間（h）	④	0.25 宗像漁協ヒアリング（H13、福岡県） 係留のための時間0.25h（15分）
整備後の係留作業時間（h）	⑤	0.17 宗像漁協ヒアリング（H25、福岡県） 係留のための時間0.17h（10分）
労務単価（円/h r）	⑥	1,620 漁業経営調査報告（H23、農水省統計部）
年間便益額（千円/年）		$(④ - ⑤) \times ① \times ② \times ③ \times ⑥ / 1,000$
		5,412

## (i-3) 合計

区分		備考
陸揚げ・準備岸壁（千円/年）		24,377
休けい岸壁（千円/年）		5,412
年間便益額（千円/年）		29,789

## (ii)-3m岸壁整備による準備時間の短縮

製氷棟前の岸壁を新設することで出漁時の時間待ちを解消する効果。

区分		備考
出漁1日当たりの岸壁利用隻数 (隻/日)	①	20 宗像漁協ヒアリング (H25、福岡県)
漁船の年間出漁日数 (日)	②	160 宗像漁協ヒアリング (H25、福岡県)
整備後の1日当たり岸壁利用回数 (回)	③	2 宗像漁協ヒアリング (H25、福岡県)
係留作業人数 (人/隻)	④	3 宗像漁協ヒアリング (H25、福岡県)
整備前の係船時間 (h)	⑤	0.72 宗像漁協ヒアリング (H13、福岡県) 係留のための時間0.22h (13分) 給氷準備時間0.5h (30分)
整備後の係船時間 (h)	⑥	0.58 宗像漁協ヒアリング (H25、福岡県) 係留のための時間0.08h (5分) 給氷準備時間0.5h (30分)
労務単価 (円/h r)	⑦	1,620 漁業経営調査報告 (H23、農水省統計部)
年間便益額 (千円/年)		$(⑤ - ⑥) \times ① \times ② \times ③ \times ④ \times ⑦$
		4,354

## ②経費削減効果

## (i)防波堤等の整備に伴う漁船の耐用年数の改善

外郭施設整備により港内の静穏度を確保することで、漁船間接触が減少し耐用年数が伸びるため、減価償却費の削減効果。

区分		備考
漁船総トン数 (トン)	①	795 漁港港勢の概要「平成22年」
漁船の建造費 (千円/トン)	②	3,690 ガイドライン
整備前の漁船の寿命 (年)	③	7 減価償却資産の耐用年数等に関する省令
整備後の漁船の寿命 (年)	④	10.13 ガイドライン
年間便益額 (千円/年)		$(② / ③ - ② / ④) \times ①$
		129,488

## (ii)泊地浚渫による漁船修理費の削減効果

泊地で漁船のプロペラを破損する事故が発生している。泊地浚渫による漁船修理費の削減効果。

区分		備考
整備前の1年当たり事故発生数 (隻)	①	17.5 宗像漁協ヒアリング (H13、福岡県)
整備前の1回当たり漁船修理費 (千円)	②	125 宗像漁協ヒアリング (H13、福岡県)
整備後の1年当たり事故発生数 (隻)	③	0
整備後の1回当たり漁船修理費 (千円)	④	0
年間便益額 (千円/年)		$① - ②$
		2,187